## 夏の高温を抑え、害虫の侵入を防ぐ フルオープンハウスの開発

八女分場

## 1 背景、目的

夏季の施設野菜栽培は、ビニルハウス内に熱気がこもって高温になり、また 害虫の飛来も多いため、生産が不安定です。

そこで、天井部までビニルの巻き上げが可能で、さらに防虫網を組み込むことにより、高温を抑制し、害虫の侵入を防ぐことのできるフルオープンハウスを開発しました。

## 2 成果の概要、特徴

1)開発したフルオープンハウスは、側面に加え天井部までビニルの巻き上げができ、強い光線量の時には遮熱資材(白冷紗など)を内張りし、ハウスの側面部に1.0mm、天井部に1.0mmないし2.0mmの防虫網を組み込んだものです。

従来のハウスの改造でも簡単にできます。

2) このフルオープンハウスは、換気性に優れ、施設内の昇温を抑える効果が高く、さらに防虫網を組み込んでいるので、主な鱗翅目害虫の侵入を防ぐことができます。

ハウス内の温度の上昇を抑える効果は、高い位置ほど顕著です。

3) このフルオープンハウス内を遮熱資材で内張りすると、さらに葉温や地温の上昇を抑える効果があります。

## 3 主要なデータなど

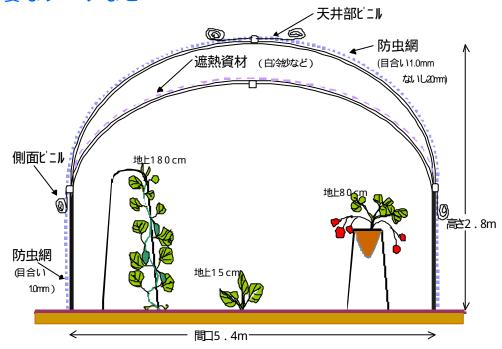


図 1 開発したビニル巻き上げ・防虫網組み込み式のフルオープンハウス

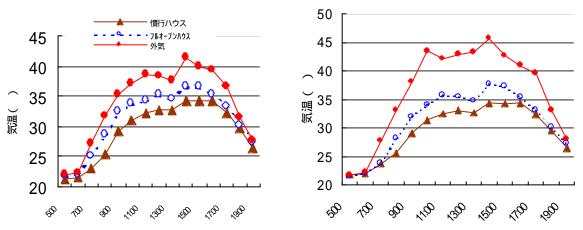


図2 施設の種類と高さ別気温の推移 注) 8月23日、晴天日の可照時間帯。 オープ・パウス:側面1.0mm、天井部2.0mmの防虫網。

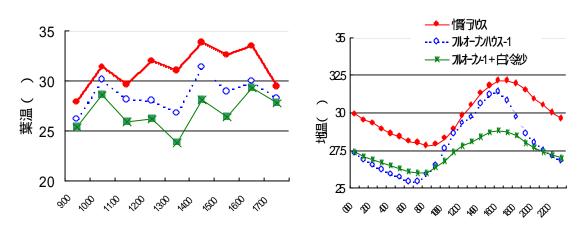


図3 フルオープンハウスでの遮熱資材被覆と被覆下の葉温と地温の推移注) 8月29日、晴天日。 遮熱資材は白冷紗。